

令和6年度 事業別戦略

(1) 営農経済事業

事業方針		地域農業の活性化に向け、激しい環境変化に対応した体制整備と新たな事業展開に取り組みます。 また、地域の維持・発展に向け、農業が持つ役割の理解促進により、「農業関係人口」の増加を図ります。		
組合員へ提供すること		【達成指標】	実績値 / 期間進捗率	総 括
営農 1	農業経営基盤強化にかか る支援実施	7品目生産量 ①果樹・野菜 304トン増加 ②花木 63千本増加	販売期間中	定期的な講習会の開催や園地巡回指導を継続した結果、新規できゅうりに取組んだ生産者の中には、平均以上の収穫量を実現した方もおられました。またSNSを活用して病害虫発生状況や生育状況を迅速に情報共有し、対策していただく事で規格外品の減少につなげています。 ※なお、期間進捗率については未収穫品目が多いため、下期から開示させていただきます。
			—	
営農 2	品目別生産部会の生産規模拡大	7品目 作付面積 12ha増加	0.57ha	生産拡大に向け作付け募集を進め、令和6年の新規作付者はきゅうり10名、里芋9名となりました。しかし、高齢化等に伴う規模縮小に歯止めがきかない状況です。次年度の新規作付け募集説明会の開催に向け、準備を行い増反を図る取り組みを行います。
			4.8%	
営農 3	販売高維持向上に向けた体制整備	新規販売企画 5企画実施 (2億円)	4,602千円	契約販売の取り組みを強化し、ふるさと納税をはじめとした商品提案を進めています。また、販売促進活動も積極的にを行い、地産地消に繋がる活動を行っています。 令和7年度の柑橘共選場統合については合意を頂き、運営体制について協議を進めています。
			2.3%	
営農 4	農業資材の地域最安値設定	10品目	5品目	カメムシの緊急対策として対象薬剤を10%助成を実施します。また、資材高騰にともなう農家支援として国・県の高騰対策事業およびJA独自の対応を検討中です。また、指針の見直しや堆肥活用の支援を実施し適正施肥の啓蒙と肥料の数量確保および安定供給に努めます。
			50.0%	
営農 5	JAオリジナル特典の実施	4エリア実施	2エリア	店舗集約に伴い、2エリア（大西・伯方）において営業時間外引渡しを継続的に実施しており若干名の利用があります。今後も地域の特性等を加味しながら、JAで購入した際の優位性を確保できるように努めます。
			50.0%	

営農部門 達成度	26.8% / 最大 50%
-------------	-------------------

令和6年度 事業別戦略

(2) 金融事業

事業方針				
農業・農地・資金・保障等を含めた、組合員・利用者の大切な財産や資産を運用・形成し、次世代へ継承することをJA金融事業の使命とし、皆さまのお役に立つための事業運営体制の見直しと、一人ひとりに適したアドバイスを行うことのできる人財を創造することで、これからは『人が拠点』として、何でもJAにお任せいただけるサポート態勢を充実させます。				
組合員へ提供すること		【達成指標】	実績値 / 期間進捗率	総括
金融1	きめ細やかなサービスによる組合員の資産運用・形成	金融業務粗利益 3,130百万円	1,532百万円	一人ひとりのニーズを総合的にサポートするため、「人が拠点」の更なる強化を実施します。お金の色分け、3Q活動を実施することにより、組合員・利用者へ長期的な「安心」「満足」が提供できるよう、地域に寄り添いお役に立てる活動を行っていきます。
			48.9%	
金融2	相談機能の強化による更なるサポート活動の充実	訪問・相談件数 36,500件	22,994件	契約者フォロー活動（3Q活動、住宅ローン感謝訪問、年金振込先への訪問）を継続実施しています。組合員・利用者向け各種相談会・セミナーを開催しています。また、多岐にわたる相談に対応できる担当者を育成するため、管理者及びトレーナー同行・ロールプレイングに取り組んでいます。
			50.0%	
金融3	多様な接点の拡充による快適で便利な暮らしの提供	非対面チャネル新規登録数 4,000件 (R4から10,000件) (R4からの累積 6,675件)	1,513件	非対面チャネルの重要性の浸透を図り、組合員・利用者へ伝える活動を実施しています。彩菜サイコーやイオンモールでのイベントを実施し、新たな接点機会を確保することと同時にJA事業案内も実施しています。
			37.8%	
金融4	業務ウェイトの「事務」から「組合員サービス」への転換	渉外職員割合 33%	32.9%	体制については、令和6年度から各支店に営業課長（貯金特化型店舗除く）及び渉外担当者を配置することで管理者・担当者の業務負担を軽減し、一元管理にて運用しています。負担軽減分を組合員・利用者に対して、出向く体制の中で金融サービス提供の強化を行っています。
			49.8%	
金融5	何でもJAにお任せいただける人財の創造	国家資格取得者数 10人増加 (R4から30人増加) (R4からの累積 18人)	1人	FP2級1名が合格しました。令和7年1月末に実施されるFP2級の試験に向け、22名の職員が研修、通信教育を受講しています。9月に1名、令和7年1月末22名以外にも受験予定者がおり、知識習得に取り組んでいます。また、エリア単位でのミーティング、勉強会を実施しています。
			10.0%	

金融部門 達成度	39.3%	最大 50%
-------------	-------	-----------

令和6年度 事業別戦略

(3) 生活福祉事業

事業方針				
J A版地域包括ケアシステムを構築し、生活機能の維持・回復ができるよう自立支援型のサービス提供を重点に、住み慣れた地域で安心して暮らせる豊かな地域社会づくりをめざします。				
組合員へ提供すること		【達成指標】	実績値 / 期間進捗率	総括
福祉1	職種別の人材育成による満足度の高いサービスの提供	月平均利用者数 500人	338人 ----- 33.8%	各種ミーティング及び感染症、虐待防止、BCP等の委員会を定期的を実施して情報共有しました。また、計画的の国家資格及び専門資格研修に参加していきます。
福祉2	利用者の自立支援に資する質の高いサービス提供による事業経営	月額介護報酬 3,100万円	2,897万円 ----- 46.7%	科学的介護推進体制加算の評価データを基により良い介護サービスに努めました。また、新規加算取得に向け内部の研修会を実施しました。今後も評価データをケアマネージャーと共有して自立支援型のサービス提供に努めます。
福祉3	地域と協力して活動できる体制の構築	年2回実施	1回 ----- 50.0%	地域と連携を密にして各種イベントに参加しています。また、運営推進会議で地域行事、各種イベント情報を共有して地域との関わりを深めています。

福祉部門 達成度	43.5% / 最大 50%
-------------	-------------------

令和6年度 事業別戦略

(4) 管理部門

事業方針		組合員への提供すること			実績値 / 期間進捗率	総括
組合員との対話運動を通じて新たな意思反映体制を構築します。また、地域の持続的発展を支える組織であり続けるために、財務基盤の確保及び内部統制の強化に取り組みます。		【達成指標】				
管理1	組合員の意思反映や運営参画の機会を提供	多様な接点による対話回数 200回	210回	50.0%	非対面での組合員との対話方法として、いただいたメール・お便りへの返信を毎月実施したほか、組合員特典ニーズ把握等を目的にLINE登録者アンケートも実施しました。 組織活動の場を通して組合員の意思を事業運営に反映する仕組みを積極的に構築し、10月開始の公式Instagramの有用な情報発信にも努めます。	
管理2	働き世代を見据えた仲間づくり	60歳未満の組合員800人増加 (R4から2400人増加) (R4からの累積1,019人)	164人	20.5%		
管理3	財務基盤の安定化に向けた自己資本比率の維持	自己資本比率 12%以上	12%以上	50.0%	自己資本について様々な理由により出資減口や組合員数が減少しています。自己資本の減少は自己資本比率に影響するものですが、直ちに基準値に影響を与えるものではありません。人口の減少も想定されていますので、引き続き事業利益の確保やリスクアセットの額での対応などで、目標の自己資本比率を確保できるように注視してまいります。	
管理4	協同の理念を体現し、長期に亘り地域に貢献することで、組合員の負託に応える職員の育成	勤務年数3年以内における職員の定着率90%以上	85.0%	47.2%		
管理5	内部統制・コンプライアンス態勢の強化	実施進捗率 100%	50.0%	50.0%	不祥事再発防止策進捗状況について役員が全事業所を巡回し管理者と担当者のヒアリングを通じて確認しました。監事、会計監査人との連携及び内部監査を通じて内部統制整備・不祥事再発防止策の取り組み、運用状況を検証しました。引き続き、防止策の徹底を実践し、効果的に検証していきます。	
管理部門 達成度		43.5%			最大 50.0%	

令和6年度 事業別戦略

(5) 株式会社ジェイエイ越智今治

事業方針		多様化するニーズに適応し、ライフライン機能の維持発展を図り、組合員・利用者の皆さまの豊かな暮らしをサポートします。		
組合員へ提供すること		【達成指標】	実績値 / 期間進捗率	総括
K K 1	【店舗】 J Aらしい店舗づくりによる安心して利用できるサービスの提供	全店舗(計) 1日平均利用者数 630人	576人	キャンペーンや旬をアピールしたフェアを実施し、集客を図りました。販売促進企画の強化に取り組み、J Aらしい店舗づくりに努めます。
			45.7%	
K K 2	【葬祭】 J A葬祭を安心して選んでいただける情報の提供	新規ルミエール 会員120人増加 (R4から360人増加) (R4からの累積 261人)	68人	お客さまに安心して選んでいただけるよう、随時、事前相談の受け付けや葬祭会館の内覧を行いました。また、J Aの内部組織等に対しても、会員特典の説明を行うなど、会員獲得に取り組みました。ホームページによる情報発信や組合員宅への訪問で、J A葬祭の認知度向上に努めます。
			50.0%	
K K 3	【自動車】 組合員・利用者に信頼されるサービスの提供	新規車検 実施台数 215台	77台	新規車検の獲得については、職員利用や紹介等により推進を行いましたが、計画を下回って推移しています。第3四半期においても展示会やイベントを開催し、事業のPRと利用度の向上に取り組みます。
			35.8%	
K K 4	【LPガス】 無線通信による集中監視システムを構築し、安全で安心な保安サービスの提供	ふれあい訪問 活動実施戸数 年間500戸	262戸	「一日一件訪問活動」を実施し、ガス器具の販売、燃料転換を行いました。また、吉海の集中監視エリアを拡大し、保安サービスの向上を図りました。今後も、訪問活動を通じて、安全・安心なガス器具の普及に努めます。
			50.0%	

K K 部門 達成度	45.4% / 最大 50%
---------------	-------------------